

授業科目名	芸術文化と著作権、法、契約	担当教員	福井 健策 田島 佑規
必修の区分	選択		
単位数	1 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 2 クォーター		
講義内容	<p>・本講座では、あらゆる芸術分野の関係者にとって必須の知識となった「著作権」「肖像権」「下請法・労働法」などの基礎知識を中心に、「契約書の読み方・交渉のしかた」「税金・社会保険」など、いわばアーティストやスタッフにとっての生存のための必須知識を、基本から学ぶ。</p> <p>・中心となる著作権では、実際に論争になった作品や、「投稿の注意点」「二次創作」「"パクリ"論争」などの同時代のトピックに触れて考えることで、著作権や契約が、私たち全てにかかわる刺激的なテーマであることがわかるだろう。</p>		
到達目標	<p>・著作権・肖像権などの権利問題の基礎と実践知識を身につけて、自分で最低限の判断ができる</p> <p>・契約書の読み方と交渉のしかたを知る</p> <p>・その他、税金や社会保険など、アーティストとスタッフの生存のための基礎知識を身につける</p>		
授業計画	<p>1 著作物とは（福井）</p> <p>2 著作権とは（福井）</p> <p>3 どこまで似れば侵害か（福井）</p> <p>4 制限規定、投稿・SNS の注意点（田島）</p> <p>5 過去の作品の保護期間とパロディ・二次創作の限界（田島）</p> <p>6 デジタルアーカイブ（EPAD 事業紹介）／政府連携／公的補助（田島）</p> <p>7 契約①：基礎知識（田島）</p> <p>8 契約②：交渉を体験する（田島）</p> <p>9 商標・肖像権とは？（田島）</p> <p>10 あなたを守る下請法と労働法（田島）</p> <p>11 税金と社会保険の基本（田島）</p> <p>12 全体の振り返りと質疑（福井・田島）</p>		
事前・事後 学習			
テキスト			
参考文献	18 歳の著作権入門（ちくまプリマー新書）、エンタテインメント法実務（弘文堂）、ビジネスパーソンのための契約の教科書（文春新書）、エンタテインメントと著作権シリーズ（CRIC）		
成績評価 の 基 準	講義中の貢献度・発言（70%）、テスト（30%）の総合評価		
履修上の注意 履修要件			
実践的教育	該当しない。		

備考欄	
-----	--